

■ オレンジルート及びグリーンルートの車両更新について

現行車両について			
<b>【現行車両(トヨタ・ハイエース)導入の経緯】</b>			
<p>狭隘な道路が多い清須市内を安全かつより多くの利用者を輸送するために、コンパクトで乗車定員の多いトヨタ・ハイエースを選定し、道路運送法や保安基準等の旅客運送基準を満たすために必要な改造を施し、平成18年10月から運行を開始した。</p>			
<b>【現行車両(トヨタ・ハイエース)の状況】</b>			
<p>トヨタ・ハイエースは運行開始から6年が経過し、走行距離も30万キロを超えて駆動系に関する修理も増え、今後エンジンに関する故障の発生も懸念されるだけでなく、2両の導入時期が同じで、走行状況も同様であるため走行不能となる時期が重なることも想定される。</p> <p>また、運行事業者であるつばめ自動車が使用しているタクシー車両については、走行距離35万キロを車両更新の目安の一つとしており、車両の車種・更新時期等について考慮する必要がある。</p>			
<b>【現行車両の状況】</b>			
	オレンジルート	グリーンルート	サクラルート
車種	トヨタ・ハイエース	トヨタ・ハイエース	日野・ポンチョ
乗客定員	12名	12名	28名
所有者	清須市	清須市	つばめリース
使用者	つばめ自動車	つばめ自動車	つばめ自動車
運行開始日	平成18年10月	平成18年10月	平成24年7月
走行距離	約329,000km	約342,000km	約53,000km
法定耐用年数	5年	5年	5年
購入金額	約3,400千円	約3,400千円	約18,000千円
補助金	約3,400千円	約3,400千円	約7,800千円
車いす乗車	不可	不可	可

  

トヨタ・ハイエース

日野・ポンチョ

更新車両について		
<b>【車両更新にあたり考慮すべき事項】</b>		
<b>《車両選定の基準》</b>		
<p>道路運送法や保安基準等の旅客運送基準の他に、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(平成18年法律第91号。以下「法」という。)の施行により、バス車両には、車いすに乗ったまま乗車でき、車いすを固定するスペースを確保することなどが求められる。</p>		
<b>《車両選定》</b>		
<p>法等の基準を満たし、市販されている車両候補</p>		
	トヨタ・ハイエース	日野・ポンチョ、三菱・ローザ
車両サイズ	現行車両と同サイズ	マイクロバスと同サイズ
定員	8名(12名から4名減)	28名程度
路線	現行の路線体系での運行が可能	道路幅が広い路線への見直しが必要
車両本体価格	約500万円	約600万円～1,500万円
補助金	対象外	日野・ポンチョのみ対象
主なメリット	車両サイズが大きくないので、市内の道路状況に左右されにくい	今後の利用者増加にも対応可能 車種によっては補助対象となる
主なデメリット	定員が減少することにより、定員超過になる割合が増加(月1回程度⇒毎日1回弱程度)	車両サイズが大きくなるので、運行路線が限定的

  

トヨタ・ハイエース(車いす乗車対応車)

シートレイアウト

車いす乗車時

通常時

※普通乗用車と異なり受注生産に近い形での生産となるため、納期がかかる場合もあることから、車両の更新時期については、余裕を持って計画的に検討する必要がある。